

# 製本のススメ

Vol. 154

今年は早々と桜も終わり「桜祭り」も緑色ばかりでした。どの花々も例年より早めに開花していますね。気温も様々で体調の管理が難しく風邪気味の方も多いのでは？年度末も過ぎましたから この辺で一休みいたしましょう。

今回は**本の歪みと喉元のたわみ**の話し

無線綴じの冊子で時折みられるノド側のたわみ(軽くうねっているようなシワ状態)

不良ではないのですが 幾つか要因をあげてみます。

\*表紙用紙が薄くバインダーのニッピング圧に負けて紙が伸びてしまう

\*表紙や本文用紙が横目(逆目)である

\*表紙と本文 又は折丁同士で 紙の伸縮量の差が大きい

これらを解決するのは製本だけでは極めて難しく 用紙選びの段階から伸縮量も考慮に入れて企画を進めていくほかありません。

歪については製本よりも前の段階と後の保管状態によるものが大きく影響します

\*刷り本自体が既に細かく波打っている(輪転などでよく見られます)

\*刷り本が水に濡れてしまった(大量の湿気による紙伸び)

(上製本の加工では多くの糊を使うため上記のような状態になりやすく

その為 十分なプレスと乾燥の時間が不可欠なため、加工期間も長くなります)

\*出来本を高温の場所に保管していた(夏場などは注意が必要です)

\*長期間状態の悪い場所に保管していた(床がたわんでいたり、段差等がある)

紙はとてもデリケートで変色・劣化が起きやすく そのため保管には十分な注意が必要であり 印刷時にも「紙は伸びる」ことを考慮に入れる必要があります。例えば複写伝票の印刷では全判での多面付けは向きません。**クワエ尻側の紙伸びが起きて複写位置が合わなくなる為です。**A4仕上がりならば4面が限度でしょう。



*Tea break*

さてお知らせです！**来る6月3日(日)午後から御朱印帳の製本ワークショップを当社内で開きます。**表紙貼りから仕上げまで丁寧に(?)レッスンしますのでご興味のある方はご連絡ください 御朱印帳はジャバラ折ではありません。詳細はフェイスブック「井関製本の日々」にも掲載しております。電話での申し込みも受け付けております。知識と経験は持っていても邪魔にはなりません！ぜひこの機会にご参加ください。お待ちしております

弊社 HP は [www.isekiseihon.com](http://www.isekiseihon.com)

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本